

市民まちづくり会議 意見交換会(8/26) 主な意見

(出席：25名)

意見	事務局の回答
<p>人口流出の原因を把握しているのか？人口の自然減は仕方ないと思うが、結婚や就職、転職など、何か転出の原因があるはずであり、そこを知りたい。</p>	<p>→転出先は把握しているが、個人的な事情までは個別に把握することは難しい。</p>
<p>→例えば市民が転出する際に、大雑把でもその理由を聞いてはどうか。商売をやっている者であれば、顧客が離れる理由を必ず聞くものである。</p>	
<p>行田市の面積などを基に、理想の人口規模というものは設定できないのか？</p>	<p>→面積等を基に、理想の人口規模を設定することは困難である。</p>
<p>産業の流出や人口減少に関して、地域別に流動の内容は把握しているのか。</p>	<p>→地域別の人口の動向は把握している。地域ごとの人口分布を積み上げたデータを第5章の地域別構想で整理している。</p>
<p>20年後の市のイメージが湧いてこない。都市機能の集約や商業の再生を、具体的にどのように実現し、どのような形にすると考えているのか。</p>	<p>→都市機能の集約とは、例えば、高齢者が病院の帰りに近くで買い物をして帰れるというように、公共公益施設などを市街地に集積し、歩いて暮らせるまちをイメージしている。</p> <p>→商業の再生を含めた産業振興のプランについては、今年度、産業振興ビジョンの策定に取りかかり、3～5年の実効性のあるプランを立てる予定である。</p>
<p>これまでのまちづくりについては、市民意識調査での満足度が5割に達していない。</p> <p>今回のマスタープランには、例えば水と緑のまちづくりの具体例が書かれていない。市民の要望を受けて、どこの部署が担当して進めるということを書かないと実現はしない。</p>	<p>→都市計画マスタープランはあくまで方針、青写真を示すものであるが、具体的に分かりやすいものにしてほしいというご意見を多数頂いているため、第5章の地域別構想では、事業名と担当課も明記している。また、第6章では実現に向けた推進方法や、リーディングプロジェクトについても明記していく。</p>

意見	事務局の回答
<p>工業団地が出来てから人口が増加してきたが、現在では新たな企業も入らず人口が減少してきている。</p> <p>20年という計画期間は考えが古い。計画期間を5年とし、5年で実行できる計画にすることはできないのか。</p>	<p>→都市計画マスタープランは、県が策定する「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即して20年を計画期間としている。また、都市計画の柱となる土地利用や道路、市街地開発事業などは長期的な視点が必要であるため、20年が妥当であると考えている。</p>
<p>これまで幹線道路や工業団地などが整備されてきたが、例えば現在の富士見工業団地には一部の工場の他は、多くが流通倉庫になっている。</p> <p>行田市から羽生市・熊谷市への流出が多いが、その原因は、もともと行田市に住んでいる人達の子どもが、結婚や就職を機に交通の便が悪いという理由で、出て行くのではないのか。</p> <p>行田市はもはや県北の中核都市ではなく、税務署、ハローワーク、県土整備事務所しか残っていない。保健所は加須市に、JAも羽生市に出ており、富士見工業団地でも人が流出していると聞く。若い人の流出をどう食い止めるかが問題ではないか。</p> <p>例えば北本市のように周辺都市の先進的な取組みを見習ってはどうか。また、長年行田市に住んできた人よりも、周辺都市の方々は行田市が発展していない理由がよく分かるのではないのか。</p>	<p>→一定の定住人口を確保するうえで、若い世代の流出を食い止め、また外から転入してもらうことは、非常に重要だと考えている。本計画策定にあたっては、市民アンケート調査の実施や各種団体との意見交換等により、若い人の意見を聞いて進めている。</p>
<p>工業団地では大規模な工場が群馬県へ出ていき、それに伴い従業員の家族も出て行っている。行田市の建て直しにおいて、人口減の問題を真剣に考えていく必要がある。</p> <p>マスタープランにはいろいろな課題をあげているが、市として最も重要な問題や必要な取組みに、優先順位を付けているのか。優先順位をつけた上で、それらに派生する問題への解決策を考えるべきである。市の重点課題は何と考えているのか。</p>	<p>→あげている課題は都市づくりの上で全て重要であるが、中でも人口減少対策として、産業の空洞化対策や企業誘致が大事である。また、観光も重要な課題である。県内には年間150万人から600万人に観光客を増やした川越市があるが、県の関係者からは次にポテンシャルのあるのは行田市であると言われている。拠点をまちなかに位置付け、求心力のある成功例をつくっていけば活性化が進むのではないかと考えている。</p>

意見	事務局の回答
<p>私はきれいな水が必要であると考えている。きれいな水を確保する手段として、武蔵水路や酒巻導水路の利用ができないか、そしてきれいな水があれば人は集まってくる、という持論を展開している。</p> <p>先ず優先順位を市政がつくり、それが正しい方針であれば協力する市民も増えていくと思う。きれいな言葉を並べるだけではなく、具体策がほしい。</p>	<p>→第5章地域別構想においては、具体的な事業を位置付ける予定であり、地域別懇談会にて説明させていただく予定である。また、第6章では、本計画を牽引するリーディングプロジェクトについても位置付けを行い、実現性の高いものにしていく。</p>
<p>前回の都市計画マスタープランでは10年かけても進展がなかったが、今回いつまでに計画を実現するという目標はあるのか。民間会社であれば、財源と工程表がない限り夢物語の計画に終わってしまう。</p>	<p>→目標の実現工程を、短期・中期・長期に区分をする予定はない。この計画書の中では、先導的に進める事業を第6章でリーディングプロジェクトと位置付け、関係部署を含めて進捗管理を徹底していく。</p>
<p>行田の問題点は公共交通の無いところであり、市役所の職員やボランティア・NPO を使って市営でバスまたはタクシーを運行するといいいのではないか。</p>	<p>→貴重なまちづくりの提案として、関係部署に伝えていく。</p>
<p>40年前よりもデメリットが多くなっていると感じる。昔は1時間に1本バスが通っていたので暮らしていけると思ったが、その後廃止になり、車を運転できなくなれば引越すしかないと考えている。</p> <p>また、観光客は一度来ると、交通の便が悪く、くたびれたと言う。つまりリピーターがいない。外から見た行田を考えてほしい。</p> <p>市民まちづくり会議で、改善するように意見を出した駅の看板については、拭いてもらったけれども字が見えない状態である。やるならばきちんと進めてほしい。</p>	<p>→観光資源が多くあるものの、それらが市内各地に点在しているという現状があり、今後は回遊性の向上が一つの課題になる。</p>

意見	事務局の回答
<p>策定委員会からオブザーバーとして参加しているが、会議では計画をいつまでに実行するのかということや、財政的な裏付けが必要であることを主張している。</p> <p>この計画書では将来の姿が見えない。タイムテーブルをつくらないのならば、もっと大雑把でも良いのではないかと思う。そして都市計画マスタープランとは別に計画をつくるべきである。</p> <p>また、前回の都市計画マスタープランを評価して解決策を記述するべきである。</p>	<p>→前回のマスタープランにおける事業の実施状況や今後の整備方針については、作業部会等において整理し、市民まちづくり会議などからいただいた意見を踏まえ、課題の設定を行っている。</p>
<p>人口減少や産業の空洞化について、観光に重点をおくという話だが、行田には歴史・文化があるものの足袋産業が軽視されている。</p> <p>足袋の工程を知りたい、足袋がほしいという来訪者は多く、ボランティアの職人さんが苦勞しているが市の支援がない。これからの観光は新しいものだけではなく、古いものも暖めていくべきである。</p>	<p>→これまでの消費するための観光から、歴史・文化に触れるための観光へのニーズが変化しており、考え方を改める必要がある。なお、観光だけではなく、定住人口の確保が重要な課題であると認識しており、そのために観光や産業について位置付けをしている。</p>
<p>観光産業による市の再生という点について、それは観光課の仕事として考えるのか、それとも都市計画課も観光の仕事を取り入れていくのか。</p>	<p>→都市計画課としては、産業振興ビジョンの検討の過程で、商工観光課に対して意見を伝えていく。</p>
<p>例えば待機児童ゼロを目指す、学力をつければ県レベルの上位校に入れるよう教育に力を入れるべきなど、いろいろと意見やアイデアを出しているが、これらの話は教育委員会と協議しているのか。</p>	<p>→都市計画マスタープランに直接反映することはできないご意見については、関係部署へ伝えて説明をしている。</p>
<p>計画書の中には、世界遺産に関する表記が2箇所しかなく、市民まちづくり会議でも話題が出ていない。市民は観光にそれほど関心がないという話も聞いている。</p> <p>予算の面も含めて実現が難しいのは分かるが、商工会議所のトップの意見もふまえて、世界遺産についてもう少し記述してはどうか。</p>	<p>→第5次行田市総合振興計画等の上位計画に則して、現在の表記としている。なお、さきたま古墳公園については、拡張整備の促進や周辺のインフラ整備など、マスタープランで位置付けが可能なものは表記している。</p>
<p>我々市民まちづくり会議は、実施計画の段階まで参加していいのか。</p>	<p>→市民まちづくり会議は、都市計画マスタープラン策定に係る会議であるため、実施計画とは別個となる。今後の市民参加の基本的な考え方については、第6章に位置づける予定である。</p>

意見	事務局の回答
<p>実施計画の策定等は、都市計画課とは違う部署が担当するのか。</p>	<p>→実際に事業を行う各担当課でそれぞれ進めていくことになる。</p>
<p>将来都市像の体系図は分かりやすいが、将来都市像に関して、「にぎわい・うるおい・やすらぎ」が突然出てくるように感じる。行田オンリーワンのまちとは何なのか。</p>	<p>→まちの成り立ちは人が基本であると考え、次に行田らしさとは何だろうかと考えた結果、それは水・緑・歴史と考え、将来像をそのように位置付けている。</p>
<p>第6章実現に向けての章で、短・中・長期の取組みを位置付けていくのか。短期といっても5年を更に分ける必要があると思うが。</p>	<p>→短期・中期・長期に区分はしないが、先導的に進める事業として、リーディングプロジェクトの位置づけを行う。</p>
<p>我々市民まちづくり会議の提案に対する答えがない。各課へ持ち込んだ意見やアイデアをそこで終わらせないでほしい。例えばeメールを利用し、オープンな状況で市民の意見をどんどん聞いてほしい。 もっと地に着いた身近な問題を具体的に進める会議を早く作ってほしい。</p>	<p>→市民まちづくり会議でいただいた意見は、提案書として策定委員会へ報告させていただいた。この中から、可能なものについては計画に反映させていただく。</p>
<p>忍城だけでなく、昔の風景を保って水が流れている諏訪曲輪なども注目されている。そこから水城公園、さらに南端までどう整備し、南端から市内を歩いて行田市駅へ行き観光バスで帰るなど、滞在時間を多くすることを、周辺を含めて計画すべきである。コースを具体的に設定すれば観光に役立つと思う。</p>	<p>→市民の皆さんからの貴重なまちづくりの提案として、関係部署に伝えていく。なお、本計画においても、ネットワークの重要性から施策に位置づけをしている。</p>
<p>実効性のないプランであると感じる。リーディングプロジェクトは決まっているのか。その内容を具体的に<u>ついて</u>知りたい。</p>	<p>→「元気づくり」「ネットワークづくり」「水と緑と歴史のまちづくり」の3つのテーマごとにリーディングプロジェクトを検討中である。</p>
<p>この20年後を目標とした都市計画マスタープランを活かして3年間の実行プランをつくり、更に1年後、次の3年プランをつくってチェックしながら5年間進めていく。そのような計画を都市計画マスタープランの中に入れていけばいい。</p>	<p>→実行プランについては、各事業課が必要に応じて個別に作成することになる。都市計画課としては、都市計画マスタープランに記載された事業の進捗状況をチェックしていく。</p>
<p>オブザーバーの方に聞きたい。計画書にコンセプトが見えず、コンセプトが見えないからブレイクダウンが出来ないのだと思うが、策定委員会ではこの計画をどう評価しようとしているのか。</p>	

意見	事務局の回答
<p>→まず基本理念がスローガンとなっていることが良くないと私は考えている。策定委員会では、今のところ素案が概ね良しとされているが、市民意見の裏付けのための会議となっており、そこは変えなくてはいけない。市民による会議を大事にしてほしいという話をしている。</p>	
<p>今回は第6章実現に向けての章が示されていないので、皆さんがいろいろな意見をいっているようである。今までの課題を整理し、今後の方針を出した。その方向性はその都度変えていくということである。</p> <p>今日の意見交換会ではいろいろと市に対して要望が出されている。「我々はこうしたいけれどどうだろうか」というような市民団体を集めて行なう意見交換会もあると思う。</p> <p>スパイラルアップして進めていくのがまちづくりであり、まちづくりを行なうのは我々市民である。</p> <p>今後の市民まちづくり会議の予定はどうなっているのか。</p>	<p>→今後は商工会議所や青年会議所との意見交換会も予定している。また、市民まちづくり会議について今後の具体的な予定はないが、今後も市民の皆様と意見交換等を行い、事業の実施から計画の見直し等において反映していく。地域別懇談会にも是非出席していただきたい。</p>
<p>都市計画のエキスパートとしてどんどん計画を実行してほしい。我々市民としても、こういう方法はいかがですか、と提案をしていきたい。</p>	
<p>前回の都市計画マスタープランの反省・解析し、何が足りなかったのか、振り返りをやるべきである。</p>	<p>→前回のマスタープランにおける事業の実施状況や今後の整備方針については、作業部会等において整理している。</p>